

会 員 各 位

一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会  
会長 佐々木 寛  
(公印省略)

2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 全道大会  
2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 第9回定時社員総会  
2024年度 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会北海道支部 定期総会

## 開催のご案内

時下、会員の皆様におかれましては、益々のご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、この度『2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 全道大会』を下記の日程で開催致します。

2024年度の全道大会では、『「葛藤」できる力 ～今ワタシは何をするのか～』をテーマにシンポジウムを企画しています。

近年、子どもを産み育てる権利、安心して本人主体の医療を受ける権利等について考えさせられる事案が増えているように感じています。

我々、精神保健福祉士は、日常業務の中でクライアント、家族、他専門職、地域住民、自身の所属機関など、様々な利害関係者の間に入り、調整を行っている立場であることが多いと思います。

その中で、様々な「葛藤」を抱えることも多いですが、その「葛藤」から逃げ、周りの求めに安易に従ってしまうことが人権侵害に繋がっていく恐れもあります。

今回の大会が、改めて精神保健福祉士として持つべき「葛藤」について見直し、その上で具体的に我々が何を実行するべきなのかを考える機会となれば幸いです。

なお、今回の全道大会におきましては、基本的に会場参集型で行います。シンポジウム部分については後日オンデマンド配信を行いますので、様々な事情で現地に赴くことが難しい方もぜひ参加をご検討ください。

また、『2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 第9回定時社員総会』、『2024年度 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会北海道支部 定期総会』につきましても、会場参集型で行います。定時社員総会における総会議案書など詳細なご案内は、5月初旬をめどに皆様へお届けする予定となっておりますので、別途ご確認をお願いいたします。

## 記

日 時：2024年5月25日（土）13：30～18：20（受付開始12：30）

2024年5月26日（日）9：30～13：30（受付開始9：15）

開催方法：会場参集（シンポジウム部分のみ後日オンライン配信予定）

参集場所：札幌市産業振興センター（札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1）

プログラム・申込方法・参加費等については開催要項をご確認ください

【問い合わせ先】 一般社団法人北海道精神保健福祉士協会事務局  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目  
道民活動センタービル(かでの2・7)4階  
TEL：011-215-0815/FAX：011-215-0816  
E-mail：hata.n@nishino-g.ac.jp(担当 幡)

2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 全道大会  
2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 第9回定時社員総会  
2024年度 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会北海道支部 定期総会

## 開催要項

### ■プログラム (予定)

|              |   |
|--------------|---|
| 5月25日<br>(土) | 2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 全道大会<br>大会テーマ「『葛藤』できる力 ～今ワタシは何をするのか」<br>《シンポジスト》<br>高田 大志 氏<br>(浦河ひがし町診療所)<br><br>船山 暁子 氏<br>(ルピナス法律事務所/弁護士)<br><br>岩間 孝介 氏<br>(玉越病院/日本精神保健福祉士協会代議員) |
| 13:30<br>-   |   |
| 16:30        | 松本 真由美 氏<br>(日本医療大学/どさんココロ)   |
|              | 《コーディネーター》<br>佐藤 志津 氏<br>(岡本病院/本協会副会長)  |
| 16:45<br>-   | 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 第9回定時社員総会   |
| 18:20        | (※議事進行により、終了時間が延びる可能性があります)   |
| 19:30<br>-   | 懇親会<br>場 所：塚田農場 札幌駅北口店<br>(札幌市北区北7条西4丁目-1 東カン札幌駅前ビル2階)  |
| 21:30        | アクセス：JR 函館本線 札幌駅北口 徒歩2分、南北線札幌駅 徒歩5分<br>金 額：4,500円 (飲み放題付き)  |
| 5月26日<br>(日) |   |
| 9:30<br>-    | 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会北海道支部 定期総会  |
| 11:00        |   |
| 11:15<br>-   | 演題発表 (順不同)<br>座 長 高野 和美 氏 (北海道精神保健福祉士協会事務局)   |
| 13:15        | 座 長 三上 智史 氏 (株式会社 dispo.)<br><br>『社会で支える刑事司法ソーシャルワーク』   |

## 発表者 原谷 那美 氏 (GUILD GROUP)

犯罪。この言葉は私たちにとって非日常であり、近くに存在しているけれども遠い存在です。この言葉の中には地域社会で上手に生きられず、罪を重ねている人たちの存在があります。犯罪を繰り返し、服役を繰り返す。なぜ犯罪は繰り返されるのか？なぜ福祉が届かないのか？再犯を繰り返す人たちは本当に望んで罪を重ねているのか？私たちの近くに存在している犯罪に、誰もが巻き込まれる可能性があります。新たな被害者を作らない、再犯を予防する社会システムとして、その中心となる刑事司法ソーシャルワークの必要性と包括的な支援をワンストップで提供する福祉サービスについて報告いたします。

### 『精神保健福祉士資格取得後の養成校における継続教育の現状と課題』

## 発表者 浦田 泰成 氏 (名寄市立大学)

精神保健福祉士を取り巻く環境の変化に伴い、その役割は拡大してきており、それとともに精神保健福祉士の配置状況も、医療、福祉、保健分野から、司法、教育、産業・雇用等の分野へと伸展している。これを受け、令和元年度、精神保健福祉士を取り巻く環境に的確に対応できる人材を育成することを目的とし、精神保健福祉士養成課程のカリキュラムの見直しが行われた。一方、養成課程における学習だけでは、ソーシャルワーク実践に求められる能力を養うことは困難であり、求められる役割を遂行する能力を養うためには、資格取得後の継続教育に取り組む必要がある。本発表では、養成校における継続教育の現状と課題について整理、検討を行う。

### 『長期入院者の地域移行に向けた「地域移行 DAY」の取り組み(仮)』

## 発表者 阿部 正樹 氏 (さっぽろ香雪病院)

共同発表者 佐賀 良太 氏 (さっぽろ香雪病院)

古崎 海洋 氏 (さっぽろ香雪病院)

千葉 彩夢 氏 (さっぽろ香雪病院)

さっぽろ香雪病院の地域連携支援室には、11名の精神保健福祉士が所属しており、日々の相談支援や入退院調整などの役割を担っている。令和3年度より、権利擁護や地域資源の開拓、社会参加できる場や機会の提供を推進し、精神保健福祉士としてのかかわりを強化していくために、「チーム人権」、「チーム地域連携」、「チーム地域移行」の3つのチームを立ち上げた。中でも、チーム地域移行では「入院患者の地域移行、及び社会参加の機会を作る」ことを目的に、「地域移行 DAY」の取り組みを令和5年度より始めた。毎月15日を地域移行 DAY とし、精神保健福祉士が中心となり入院患者や家族、多職種へのアプローチを行ってきた。今回はその実践内容と今後の課題について報告する。

### 『取り戻した精神保健福祉士としてのアイデンティティ ～ともに取り組む経験を通じて～』

## 発表者 高谷 澄恵 氏 (石金病院)

共同研究者 井上 誠士郎 氏

(石金病院/北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ)

精神障害に対する偏見を無くし、一人一人が個人として尊重される社会の実現を目指す『北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ』。障害の有無に関わらず、誰もが対等な立場で一緒に取り組むツールとして、スポーツを活用している。スポーツのもつ意義は、人によって千差万別である。この取り組みによってコミュニティでは、精神障害がある方々自身も、社会からの扱われ方も変わった。何より、演者が精神科病院での当たり前や、支援する・される関係性に馴染んでしまっていることに気づかされた。

私たち精神保健福祉士が目指す、社会的復権、多様性を尊重し合う地域共生社会の創造に必要な要素が詰まった、ソーシャルアクションとも呼べる取り組みについて報告する。

### 『ワタシが精神保健福祉士協会に所属する意味は？札幌西ブロックの活動を通して見えてきた協会の在り方、意味について再考する』

## 発表者 畠山 陵 (旭山病院)

共同研究者 河西 明 (札幌国際プラザ 多文化交流部 SICP 登録外国語ボランティア)

|  |   |
|--|---|
|  | <p>佐藤 彩 (札幌太田病院)<br/> 高田浩行 (多機能型事業所ソウライブ)<br/> 幡 直人 (札幌心療福祉専門学校)<br/> 藤井雅幸 (札幌保護観察所)<br/> 細田美保 (札幌太田病院)<br/> 前川貴哉 (なかまの杜クリニック)<br/> 森田隆介 (さっぽろ香雪病院)</p> <p>私が協会に入会した時、札幌西ブロックの協力員は、3～4名程で、活動が停滞している時期であった。ブロックの仲間と「何のための協会なのか？」という素朴な疑問から、今の西ブロックの活動は始まった。西ブロックの全協会員にアンケート調査を行った上で、「横の繋がり」「仲間」「集まれる場」を創ることを当面の目標とすることを西ブロックの活動指針と決めた。「集まれる場」を作り、そこで学びたいこと、語りたいことは協力員が決めるのではなく、参加者と共に決めていくこととして、現在も活動中である。数年の活動ではあるが、西ブロックは、定期的に集まり、共に作ってきた活動であったせいか、とにかく仲が良いのが特徴だと思う。本演題発表では、西ブロックの活動を通して見えてきた、協会の存在意義、なぜワタシは協会に所属しているのかについて考察を深め、発表する。</p> |
|--|---|

■参加に係る費用 事前申し込み (振込み含む) をお願い致します。

|                               |         |                        |
|-------------------------------|---------|------------------------|
| 北海道協会正会員 (日本協会・北海道協会入会者)・賛助会員 | 2,000 円 | 懇親会費用<br>一律<br>4,500 円 |
| 非会員                           | 4,000 円 |                        |
| 当事者および学生の方                    | 1,000 円 |                        |

- ※ お振込みされた参加費等につきまして、キャンセルによる返金は、当協会の都合により大会が中止となった場合以外、事情の如何に関わらず一切行ないません。
- ※ 前年度の年会費が未納の方は、「非会員」扱いとなります。ご注意ください。(会費が納入されたのが確認された時点で、会員資格での受付が可能となります)
- ※ 北海道協会手続き中の方は「正会員」扱いとなります。入会手續に関しては北海道協会事務局へご確認ください。

■振り込み先

|                           |        |               |
|---------------------------|--------|---------------|
| 北洋銀行元町支店 (店番 1 2 0)       | 普通預金口座 | 3 1 4 8 6 6 8 |
| 北海道精神保健福祉士協会 春期研修 会長 佐々木寛 |        |               |

※振込みの際には、必ずご自分の氏名を記載して下さい。

■申込方法

1. 参加費お振込み
2. 「参加申込フォーム (<https://forms.gle/aJ2KgkpcPQQXVv7Q8>) からお申し込みください。



(参加申込フォーム)

※ 参加申し込み締め切り 2024 年 4 月 22 日(月)

※ 参加に関する諸連絡などは、締め切り後に本協会からメールにてご連絡いたします。

■オンデマンド配信に関する同意事項

申込を行った時点をもって以下の事項に同意したものとみなします。

1. 視聴の権利は申込を行った申込者本人のみとし、本協会が発行した参加に必要な情報 (ID、パスワード、URL 等) を第三者に漏洩・譲渡等して、視聴の権利を第三者に譲渡・使用等させないことの承諾。

2. 大会のコンテンツの一部または全部に対し、参加目的以外に利用（複製・転載・改変・編集・再配布・譲渡・撮影・録音・配信などを含む）しないことの承諾。
3. 本協会または他の参加者を含む第三者の名誉・信用・著作権などの知的財産権、肖像権、プライバシーなどを侵害しないことの承諾。
4. 視聴に伴う一切の違法行為、嫌がらせ（SNSや各種ホームページサイトで本協会・参加者・講師などへの誹謗中傷や嫌がらせの書き込みなども含む）、なりすまし等の不良行為の他、公序良俗に反する行為をしないことの承諾。
5. 視聴者は自己の費用と責任で大会を視聴するために必要となるハードウェア、ソフトウェアその他の設備を用意することの承諾。
6. 大会中に万が一が本協会事由により予期せぬ支障（中断、停止、終了、利用不能、障害、データの削除・消失等）が発生した場合、これによって視聴者に生じた損害について本協会が賠償責任を一切負わないことの承諾。
7. 視聴中に参加者のインターネット回線の状況、パソコン環境、その他の理由により、予期せぬ支障（中断、停止、終了、利用不能、障害、データの削除・消失等）が発生した場合、これによって視聴者に生じた損害について本協会は一切責任を負わないことの承諾。
10. 本協会は、やむを得ない事由により、本協会が停止または中断の必要があると判断した場合、視聴者に事前に通知することなく、大会の一部または全部の停止またはその配信を中断をすることができる旨の承諾。

2024年3月吉日

所属機関長 各位

一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会  
会長 佐々木 寛  
(公印省略)

2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 全道大会  
2024年度 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 第9回定時社員総会  
2024年度 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会北海道支部 定期総会

所属の精神保健福祉士の派遣について(ご依頼)

謹啓

時下、貴職におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の活動に対しましてご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、標記の総会ならびに大会を下記の日程で開催することになりました。つきましては、業務ご多忙とは存じますが、貴機関の精神保健福祉士の出席につきまして、特段のご配慮くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2024年5月25日(土) 13:30~18:20  
2024年5月26日(日) 9:30~13:15

開催方法：会場参集型

参集場所：札幌市産業振興センター（札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1）

※ プログラム・申込方法・参加費については別紙開催要項をご確認ください

【問い合わせ先】 一般社団法人北海道精神保健福祉士協会事務局  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目  
道民活動センタービル(かでの2・7)4階  
TEL：011-215-0815/FAX：011-215-0816  
E-mail：hata.n@nishino-g.ac.jp(担当 幡)